

山本修三

(日本病院会会長)

医療崩壊を回避し、国民の信頼に支えられた医療を実現するために、国民生活のセフティーネットである医療について、今後の経済財政政策に関し、病院医療に限定した喫緊の課題、対策

- 1 医療の質、安全確保の視点から、
 - 1) 病院施設の耐震化の推進(資料1)
 - 2) 医療機器の更新、新規機器の導入時の支援
 - 3) 病院におけるIT化の推進
 基本的なプラットフォームの標準化(注1)
 - 4) 既存の病院建物の更新に関する規制緩和
- 2 雇用確保の視点から、Doctor's Secretary (DS) の導入、支援(注2)
- 3 医学・医療に関わる研究・技術開発等への緊急投資
(オバマ政権の対応に遅れをとらないために)

注1 電子カルテシステムは、基本的にはオーダーリングと電子カルテから成り、プラットフォームといわれるオーダーリングシステムを中心とした基本的なシステムは、標準化が可能である。このプラットフォームを国が開発し、全病院に配布または低価格で提供することで、病院におけるIT化のインフラ整備が進む。電子カルテの部分については、各病院のコンセプトによって自院にあったものを導入しやすくなる。診療報酬改定に対しても、対応が容易となる。

注2 **Doctor's Secretary** とは、医師の負担軽減を図り、本来の診療業務に専念できる体制作りの一環として、医師の事務作業を補助する職員をいう。

Doctor's Secretary の業務範囲は、

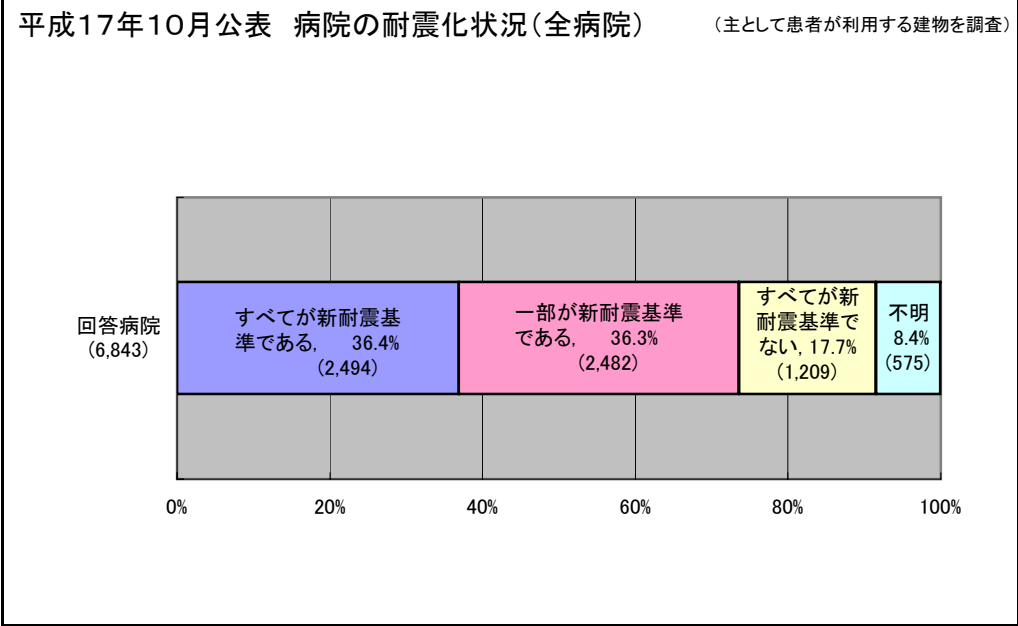
- 1) 診断書などの文書作成補助
- 2) 診療記録への代行入力
- 3) 診療に関するデータの整理
- 4) 医師の教育、臨床研修のカンファレンスのための準備作業
- 5) がん登録等の統計・調査
- 6) 救急医療情報システムへの入力
- 7) 感染症へのサーベイランス事業

この導入により、医師が本来の業務に専念、時間外労働の減少などが成果としてみられ、医師から見たこの職種に対する必要度と満足度は高いという。(アンケート結果より)

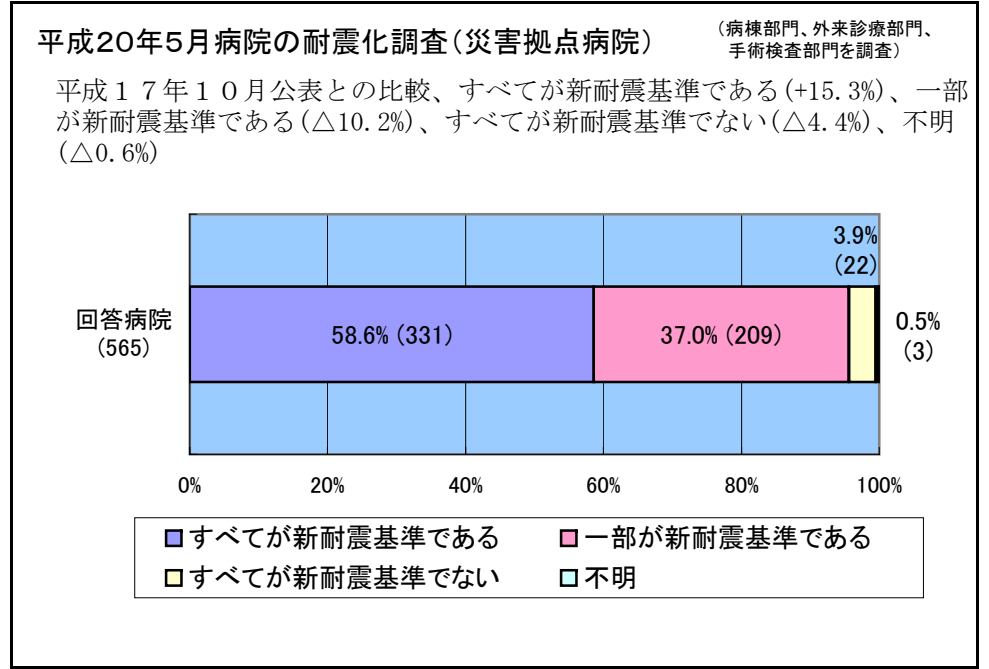
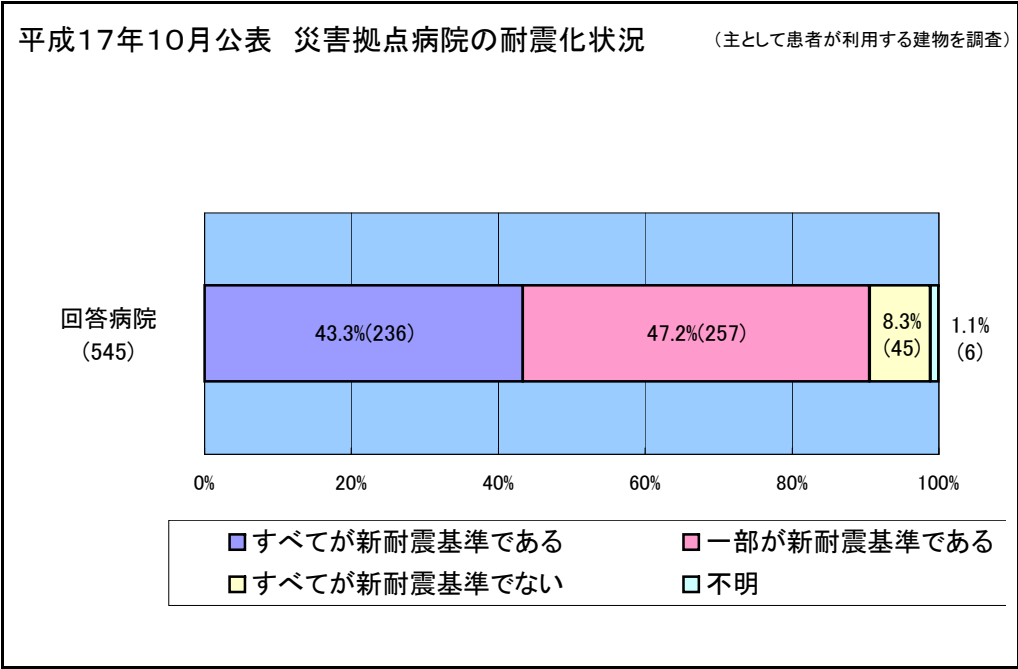
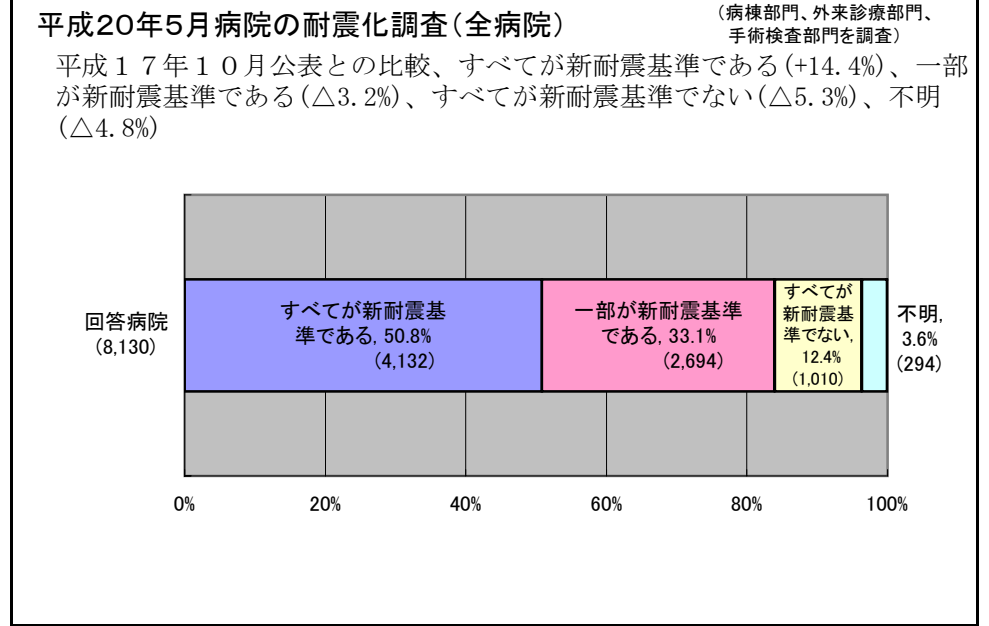
注2は、福岡県飯塚市、麻生飯塚病院見学の資料より

病院の耐震化状況について

四病院団体協議会・厚生労働科学研究班調査



厚生労働省調査



- すべてが新耐震基準である
- 一部が新耐震基準である
- すべてが新耐震基準でない
- 不明

- すべてが新耐震基準である
- 一部が新耐震基準である
- すべてが新耐震基準でない
- 不明